

一粒の麦 場面十二

# 夫 志方の死



瀬棚のシンボル・三本杉岩近くの海岸で、  
夫の志方を亡くした吟子を、中村市五郎が励ます。

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

1897(明治30)年、吟子は、瀬棚で医院を開業するとともに、淑徳婦人会や棚瀬日曜学校の創設に貢献しました。1905(明治38)年、開拓や伝道に励む志方は病を患い瀬棚の会津町の自宅で亡くなりました。享年41歳、吟子が54歳のときでした。志方の墓は、インマヌエルに建てられました。